

<様式1> 管理運営状況評価書

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

【対象年度:令和4年度】

(②福祉施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名	掛川市大須賀老人福祉センター		担当課名	長寿推進課	記入者職氏名	主査 廣岡 倍男
区分	内容・説明					
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市老人福祉センター条例				
	(2)施設設置目的	老人福祉法により高齢者は、生きがいを持てる健全で安らかな生活を保障されており、心身の健康の保持及び社会活動への参加のため当該施設を整備し、もって老人の福祉を図ることを目的とする。				
	(3)施設が有する設備、機能の概要	大広間、教養娯楽室、健康相談室、生活相談室				
	(4)施設建設年度	昭和62年				
	(5)耐震性能の有無					
	(6)将来予想される改修経費 (想定年度と費用見込み)	雨漏り補修 (令和5年度実施設計、令和6年度工事見込 3,000万円)				
	(7)指定管理者名	中部ビル保善株式会社				
	(8)指定期間	令和3年4月1日 から 令和8年3月31日 まで				
	(9)債務負担行為設定の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 設定あり <input type="checkbox"/> 設定なし		※設定ありの場合、(期間 令和3年度～令和7年度) (限度額 100,765千円)		
	(10)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営				
	(11)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。		
(12)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。			
(13)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし					
(14)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合、(直近の実施年度 令和4年度)			

区分		R02実績	R03実績	R04実績	R05当初	備考	
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	17,200	16,800	10,000	16,800	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		(実績値)	7,437	8,581	10,115		
	内訳 (施設・設備ごと)			7,437	8,581	10,115	
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓
	(施設・設備ごと)	(定員 人)	A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				
		(定員 人)	A平日昼間				
			B平日夜間				
C土日祝昼間							
D土日祝夜間							
区分		R02実績	R03実績	R04実績	R05当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2)利用者一人当たりの運営経費		657	939	809		
	(3)運営日数		240	291	291	291	
	(4)運営人員	①正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		②臨時職員	1.7	2.0	2.0	2.0	

Ⅱ 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		R02決算額	R03決算額	R04決算額	R05当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	3,784,407	5,614,712	6,446,009	4,976,400	
	②印刷費					
	③通信費	84,889	97,932	62,688	110,000	
	④事務用品、旅費、図書費など	299,163	225,655	295,464	396,000	
	⑤借上料	496,356	537,936	537,936	790,900	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	174,469	1,320,215	798,564	220,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	44,000	258,171	46,111	563,200	
	計	4,883,284	8,054,621	8,186,772	7,056,500	
	対前年度増減率		64.9	1.6	△ 13.8	
区分		R02決算額	R03決算額	R04決算額	R05当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	682,459	510,659	513,447	599,500	
		682,459	510,659	513,447	599,500	
	②修繕費	447,566	644,893	621,750	660,000	
	③光熱水費	776,809	684,765	932,577	880,000	
	④燃料費	161,990	92,693	109,528	110,000	
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
	⑦その他(施設消耗品)		843,367	733,636	825,000	
	計	2,068,824	2,776,377	2,910,938	3,074,500	
対前年度増減率		34.2	4.8	5.6		
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		6,952,108	10,830,998	11,097,710	10,131,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		70.2	74.4	73.8	69.7	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する		0	124,094	137,898		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合			1.5	1.7		

Ⅲ 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	R02決算額	R03決算額	R04決算額	備考
a) 施設使用料収入	0	124,094	137,898	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	8,248,000	10,028,650	10,131,000	
収支差額 a) - b)		△ 9,904,556	△ 9,993,102	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	R01決算額	R02決算額	R03決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a-トータルコスト)				
c) bに対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	R02決算額	R03決算額	R04決算額	備考
a) 自主事業の収入		39,000	64,000	ウォーキング教室
b) 自主事業の支出		30,432	44,121	参加者景品
収支差額 a) - b)	0	8,568	19,879	
c) その他事業の収入		338,100	1,442,500	シニアクラブ事務局受託、光熱費高騰対策交付金
d) その他事業の支出				
収支差額 c) - d)	0	338,100	1,442,500	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	90%以上	97.5%	3	
B サービス内容の満足度	90%以上	98.0%	3	
C 従業員対応の満足度	90%以上	97.5%	3	
D 施設安全対策の満足度	90%以上	98.5%	3	
E 美観・清潔感の満足度	90%以上	98.5%	3	
F 施設の利用者数	10,000人	10115人	3	【達成できていない点・主な課題】 ・施設利用者の伸び悩み 【いつまでに、どのように対応するか】 ・年度末までに、施設利用者を新型コロナ前の令和元年度並みに回復させるため、シニアクラブと連携しながら活動を活性化する。

(3) 収支の改善状況 ※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点としてください。

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	3	【達成できていない点・主な課題】 ・収支状況は向上しているが、イベントの充実が求められる。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・山王荘で好評のスマホ教室を大須賀でも開催していただきたい。ウォーキングイベントは開催回数が増え、利用者も期待していることから、趣向を凝らしながら継続・発展させていただきたい。
2	前年度と同等の収支状況になっている。		
1	前年度より収支状況が縮小している。		
0	収支差額が赤字となっている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	3	
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	【達成できていない点・主な課題】 ・民間の実施は可能であるが、主な利用者である高齢者からは施設利用料を徴収できないため、行政の関与が必要である。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	【達成できていない点・主な課題】 ・コロナ禍による利用控えはあったものの、主な利用団体であるシニアクラブ会員も減少し、利用者数が伸びていない。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・市の介護予防教室や、そこで育った指導者による教室の開催など、健康長寿の拠点として施設の活用を促す工夫が必要である。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

31

／33

V その他自由意見

令和3年度から現指定管理者の管理となった。コロナ禍で活動を制限されていた高齢者が、感染症5類となった令和5年度は活動の場を求めて活動が活発化することが予想されるため、その気持ちを自主(趣味)クラブ立ち上げに転換したり、自主事業で教室やイベントを開催するなどして、高齢者の活動の場を広げていただきたい。